

神奈川県医療費適正化計画

(平成30(2018)年度～平成35(2023)年度)

平成30年3月

は じ め に



県は、平成 20 年 4 月に「神奈川県医療費適正化計画」を策定し、「県民の健康の保持の推進」と「医療の効率的な提供の推進」を柱とした様々な取組を進めてきました。

しかしながら、県民の医療費は増加の一途をたどっており、その約 3 割を後期高齢者医療費が占めています。今後、本県では全国を上回る勢いで高齢化が進行することが予測されていることから、県民医療費は他の都道府県を上回る伸び率で増加することが予想されます。

こうした中、未病の改善による健康寿命の延伸を目指し、人生 100 歳時代に県民一人ひとりが充実した人生を送ることが出来るよう、取り組んでいくことが重要です。

そこで、県では、来るべき超高齢社会における医療費などの課題を整理し、県民や団体、市町村などの皆様からいただいた意見を反映させながら、神奈川県医療費検討委員会でご審議をいただき、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく「神奈川県医療費適正化計画」をこのたび策定しました。

本改定計画では、「生活習慣病（糖尿病）の重症化予防」や「医薬品の適正使用」などの新たな項目を加え、本県の医療費を巡る現状と課題の分析や取り組むべき施策、具体的な数値目標についてお示ししています。そして、県民の医療費の負担が将来的に過大とならずに、誰もが安心して医療サービスを受けられるよう、医療費の伸びの適正化を目指すこととしています。

また、今年 4 月から国民健康保険の制度改革が施行され、県も市町村とともに国民健康保険を運営していくこととなりますが、医療費の適正化は、国民健康保険をはじめとした公的医療保険制度の安定的・持続的な運営にとっても重要な課題です。県としましては、「神奈川県保健医療計画」などの県の関係計画と整合を図りながら、本改定計画の目標達成に向け、未病を改善する取組をはじめとした様々な取組をより一層進めてまいります。

県民の皆様や市町村、保険者、医療機関、関係団体等が相互に連携しながらこの計画を着実に推進し、「いのち輝くマグネット神奈川」「子どもたちが 100 歳までスマイルで過ごせる持続可能な社会」を皆様とともに創り上げていけるよう、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

平成 30 年 3 月

神奈川県知事 志 志 祐 治

目 次

第1章 神奈川県医療費適正化計画策定の趣旨	1
1 神奈川県医療費適正化計画の策定の背景	1
(1) 国における医療制度改革の動向	1
(2) 神奈川県医療費適正化計画の策定の背景	3
2 計画の基本的な考え方	7
(1) 基本理念	7
(2) 計画の位置付け	7
(3) 関連する計画等	7
3 計画の期間	7
第2章 神奈川県の医療費を巡る状況	8
1 現状	8
(1) 医療費の動向	8
ア 神奈川県の医療費	8
イ 神奈川県の後期高齢者の医療費	10
ウ 県民所得と医療費の関係	11
エ 高齢化の見通し	12
オ 医療費の地域差	14
(ア) 一人当たり概算医療費の地域差	14
(イ) 国民健康保険(市町村)における一人当たり医療費の地域差	16
(ウ) 後期高齢者医療制度における一人当たり医療費の地域差	18
(2) 健康の保持の推進	21
ア 生活習慣病の状況	21
(ア) 疾病別医療費の状況	21
(イ) 生活習慣病の費用額	24
(ウ) 生活習慣病の総患者数	26
(エ) 生活習慣病の疾病別総患者数	27
イ 特定健康診査・特定保健指導の状況	30
(ア) 特定健康診査の実施状況	30
(イ) 特定保健指導の実施状況	32
(ウ) 特定健康診査・特定保健指導と医療費の関係	35
ウ メタボリックシンドローム該当者及び予備群(特定保健指導対象者)の状況	36
エ 糖尿病の状況	37
(ア) 糖尿病の医療費	37
(イ) 糖尿病の総患者数	38
(ウ) 糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数	39
オ 高齢者の歯科の状況	40
(ア) 歯科医療費の状況	40
(イ) 歯の本数の状況	40
カ 喫煙等の状況	41
(ア) 喫煙の状況	41

(イ) 喫煙に起因する疾病の状況	42
キ がん検診の状況	44
(ア) 悪性新生物(がん)の状況	44
(イ) がん検診の状況	46
ク 予防接種の状況	47
(3) 医療の効率的な提供	48
ア 医療施設の状況	48
(ア) 医療施設の状況	48
(イ) 在宅医療施設の状況	49
イ 医薬品を巡る状況	50
(ア) 調剤医療費の状況	50
(イ) 後発医薬品の状況	51
(ウ) 重複投薬の状況	53
(エ) 複数種類の医薬品の投与の状況	55
ウ 受診を巡る状況	57
(ア) 受診の状況	57
(イ) 重複受診の状況	57
(ウ) 頻回受診の状況	59
2 課題	60
(1) 神奈川県の特徴	60
(2) 重点的に取り組むべき課題	60
ア 健康の保持の推進	60
イ 医療の効率的な提供	61
第3章 計画の目標と医療費の見込み	62
1 計画の目標	62
(1) 県民の健康の保持の推進に関する目標	62
(2) 医療の効率的な提供の推進に関する目標	66
2 医療費の見込み	67
(1) 県民医療費の推計方法	67
(2) 計画策定時の医療費	67
(3) 計画終了時の医療費	67
ア 医療費適正化の取組を行う前	67
イ 医療費適正化の取組を行った後	67
第4章 施策の展開	69
1 県民の健康の保持の推進のための取組(未病対策等の推進)	69
(1) 未病対策等の推進	69
ア 未病を改善する取組の推進	69
(ア) ライフステージに応じた未病対策	69
(イ) 未病改善の取組を支える環境づくり	72
(ウ) 未病を見える化する取組	73
イ 糖尿病の重症化予防	74
ウ 認知症未病対策	74

工	歯科保健対策	75
オ	たばこ対策	78
カ	がん検診の受診促進	78
(2)	保険者等による健康づくりの推進	80
ア	特定健康診査・特定保健指導の推進及びその支援	80
イ	効果的・効率的な保健事業の実施	83
(3)	予防接種の推進	84
2	医療の効率的な提供の推進のための取組	85
(1)	病床機能の分化及び連携	85
ア	病床機能の分化及び連携	85
イ	疾病別の医療連携体制の構築	86
ウ	事業別の医療体制の整備・充実	88
エ	地域医療連携	91
(2)	地域包括ケアシステムの推進	92
(3)	後発医薬品の使用促進	95
(4)	医薬品の適正使用の推進	96
(5)	適正な受診の促進等の取組	97
第5章 計画の推進体制・役割と評価		98
1	計画の推進体制・役割	98
(1)	計画の推進体制	98
(2)	関係機関及び団体等の役割	98
ア	県民	98
イ	国	98
ウ	県	98
エ	市町村	98
オ	保険者等	99
カ	医療機関・医療関係者	99
キ	神奈川県医療費検討委員会	99
ク	神奈川県保険者協議会	99
2	計画の評価	100
(1)	評価等	100
ア	進捗状況の公表	100
イ	進捗状況に関する調査及び分析（暫定評価）	100
ウ	実績の評価	100
(2)	評価方法	100
資料編		102

用語の説明について

本文で最初に記載されている箇所（図表のみに記載されている場合は、図表中の箇所）に「*」を付してある用語の説明は、巻末にまとめて記載しています。

本計画で使用するデータについて

計画において引用する各種統計・データは、平成30年1月末現在で確定・公表されている最新のデータを使用しています。